

## 退任される濱田先生からのご挨拶



追手門学院  
大手前中・高等学校  
元校長  
濱田 賢治 先生

この度、2025年3月31日をもちまして、学校法人追手門学院を退職することとなりました。特に追手門学院大手前中・高等学校校長として勤務をした6年間は大変お世話になり、ありがとうございました。7年間という短い期間でしたが、皆様にはご指導、ご協力をいただきました。至らぬ点多々あったかと思いますが、皆様に支えられて多くのことを学ばせていただきました。この間様々なことがありました。その中でも新型コロナウイルス感染症の蔓延を乗り越えることができたのは、皆様のおかげでした。追手門学院大手前中高も校友会山桜会をはじめとする学院に携わっておられる方々や、保護者、何よりも生徒たち教職員の努力と協力によって大きく進化することができました。学校コンピテンシーとして探究力を掲げ、GA/GSコースを設立し、本校6階に日本一の追手門アカデミア（自習室）を開設して、「生徒の第一志望進路実現100%」を目指しました。まだまだ道半ばですが、後輩諸君に託したいと思います。7年間本当にありがとうございました。私もこれまでと変わらず、追手門学院を応援していきたいと思っています。最後に追手門学院の益々のご発展を祈念しております。



## 山桜会 | 活躍する卒業生たち



中村 正廣氏

### 第13回「赤ひげ大賞」の栄誉に浴して

医療法人共生会 中村クリニック 中村 正廣  
小72期、中高15期

令和7年2月21日、東京の明治記念館で日本医師会主催の赤ひげ大賞を受賞しました。その趣旨は【地域の医療現場で長年にわたり、健康を中心に地域住民の生活を支えている医師にサポートを当てて顕彰すること】として、大阪の医師では2人目でした。

私は、母校卒業後、浪人を重ね昭和大学医学部卒業後、すぐに大阪大学医学部の第一外科で研修を受け、その後、大阪城近くにある東成区にクリニックを開業しました。

父親が外科病院を開業して10年間、24時間わが身を顧みず、地域医療に貢献している姿が脳裏からはなれず、父親の果たせなかった思いを糧に、同じところに開業しました。

また、病院跡地の有効活用として、当時、珍しい都会で看取りが出来る、終の棲家としての有料老人ホームを、クリニックに併設しました。開業と同時に訪問診療を開始して、在宅看取りが叶うために多職種連携を医師会主導で行い、多職種チーム医療を実践、在宅看取りを行ってきました。そして、医師会内に地域医療連携室を置き、多職種との定期会合を持ち連携して、安心安全の町づくりに貢献してきました。

一方、大阪府下の病院の地域医療連携室や多職種の有志が集まり、「大阪連携たこやきの会」と称し、そのスキルアップに努めています。私の住む地区の多くの独居高齢者や認知症の方々のために空き店舗をお借りして、高齢者の居場所づくりを進め結果、防災訓練や百円商店街活動などの動きとなっています。

今回の受賞は、以上の仕事が評価された、と考えています。いつまで現役を続けられるかわかりませんが、顔を見かけたら声をかけてください。元気が出ます！

## 令和7年春の叙勲

追手門学院小学校72期・中高15期 有本純子氏 旭日小綬章  
追手門学院高等学校21期・追手門学院大学8期 土井一憲氏 旭日双光章  
を受章されました。

永年のご成績が広く認められたものと存じます。  
卒業生一同、心よりお祝い申し上げます。



有本 純子氏



土井 一憲氏